



地の四極は来りて、  
 神の母の尊き<sup>せいせい</sup>逝世<sup>せいせい</sup>を讃め歌わん  
 蓋<sup>けだし</sup>、彼は無玷<sup>むてん</sup>なる<sup>たましい</sup>霊<sup>たましい</sup>を  
 その子の手<sup>たく</sup>に託せり。  
 故に世界は  
 その聖なる就寝<sup>い</sup>に活かされて、  
 無形の者及び使徒等<sup>とも</sup>と偕<sup>し</sup>に  
 聖詠と歌頌と属神<sup>しふ</sup>の詩賦とを以て  
 欣ばしく祝う。  
 (生神女就寝祭:大晩課)



仙台正教会  
 教会だより

2023年  
 8月号

仙台ハリストス正教会

〒980-0021 仙台市青葉区中央三丁目四二〇  
 TEL(022)225-2744  
 FAX(022)224-3080  
<http://www.sendai-orthodox.jp>  
[orthodox@hyper.ocn.ne.jp](mailto:orthodox@hyper.ocn.ne.jp)

生神女就寝祭のイコンでは、ハリストスはマンドーラ(光背)に囲まれ、光栄の中にいて、豊かに装飾された寝台の上に横たわる母の体を見つめている。生神女は赤と青緑の衣をまとっている。ハリストスはその腕の中に、白い衣を着て頭に後光を持つ小さな赤子を抱いている。この赤子は、マリヤの輝く「たましい」を意味している。新しく生まれ変わった者として、ハリストスはマリヤの「たましい」を受け取っている。

生神女就寝祭は、11世紀の終わりごろには正教会の祭として暦の中に現れ始め、ビザンチン時代の聖堂の壁や天井をこの祭のイコンが飾った。就寝祭の壁画として最も初期のものは、(ギリシャにある)ダフネ修道院やミストラのペリヴレプト修道院の入り口の上に見ることができ。それらは凡そ14世紀のものである。(コンスタンチノープルにある)コーラ

修道院などのように、普通、このイコンは入口の上部、西側の壁に位置付けられている。キリスト教美術において、生神女就寝祭のイコンは、ある文書的な源に基礎をおいている。その非常に重要なギリシャ語のテキストは、「聖なる神の母の就寝に関する神学者聖イオアンの談話」という4世紀もしくは5世紀の新約外典である。

正教会では、8月28日の祭を「被昇天」(訳注:ローマ・カトリックではマリヤは死なずに生きたまま天に昇らされたと言う)ではなく、生神女の「就寝」もしくは「逝世」としている事を忘れてはならない。この至聖なる祭は、生神女の「死」を、そしてその聖なる体が三日目に「天に移されたこと」を強調する。

それ故、この祭は、生神女の「たましい」がその息子の手の中に、そしてその体は、しばしの間だけ墓の中にあつたことを教える。「死」とは、私たちの存在の消滅ではなく、地から天への移動なのである。

「THE LIFE OF THE VIRGIN MARY: THE THEOTOKOS (生神童貞女マリヤの生涯)」より抄訳 (D)

## 通常全国公会開催



7月9日(土)、10日(日)、東京復活大聖堂教会において通常全国公会が開催された。今年はコロナ禍による出席制限は設けず、多くの神品や代議員の出席が可能となった。

一日目は、宗務報告、宣教企画委員会、財務諮問委員会、諸規則検討委員会の報告がなされた。

宗務報告の中で、全国、教区、各教会の一年間の主な活動と共に、新ニコライ会館建設準備委員会が四回に亘って開かれたことが報告された。

宣教企画委員会からは、主として「日本正教史」を発刊したことが発表された。出版元は教文館であり、一般に流通される。

財務諮問委員会からは、教団として東京都内に不動産(マンション)を購入し、約八百万円の利益を出す計画であることが公表された。この案件は、



翌日の会議で、質疑応答の後、承認された。

諸規則検討委員会からは、「聖自治日本正教会憲法・運営規約」がほぼ整ったことが報告された。ただし翌日の会議において、検討すべき箇条がまだ残っていることが指摘されたため、継続課題となった(委員会解散の建議案があったが却下となった)。

夕方5時より聖使徒ペトル・パウエル祭(暦を繰り上げ)の前晩禱が行われ、翌朝9時30分より、祭日聖体礼儀

がセラフィム大主教座下の公司と六人の司祭の陪禱により行われ、誦経者祝福、金十字架とミトラの祝福、



▲ 祭日徹夜禱(五餅の祝福)



▲ 誦経者の祝福を受けた山田兄、野田兄



▲ ミトラ戴冠の祝福を受ける及川神父



▲ 輔祭の按手を受ける庄司輔祭



▲ 日本正教会の司祭となったニコライ小野神父と

長司祭に昇叙され、休職されるイアコフ篠永神父と ▶



▲ 金十字架祝福の中西神父と長司祭昇叙の対中神父

長司祭の昇叙、そして輔祭叙聖も行われた。聖体礼儀につづいて全永眠神品教役者のためのリテイヤが献じられた

二日目の会議は、決算、予算について討議され、上程されたとおりの予算が承認された。

最後に人事に関する発表が行われた。要約すると以下のとおり。

誦経者祝福二名…イオアン山田亮 兄(修善寺)

ヴァルナバ野田幹太(修善寺)

金十字架祝福…パウエル中西神父(東京)

ミトラ祝福…パウエル及川神父(京都)

長司祭昇叙…ミハイル対中神父(東京)  
イアコフ篠永神父(札幌)

※なおイアコフ篠永神父は7月をもって休職  
輔祭叙聖…イオアン庄司輔祭(横浜)

司祭移籍…修道司祭ニコライ小野神父が、  
ロシア正教会から日本ハリストス正教会教団  
の司祭となる(東京復活大聖堂)

九州北正教会管轄区の設立…

グリゴリー水野神父の管轄において

人吉から福岡へ拠点を移す計画

柳井原正教会の代表役員が小川神父に変更

## 令和5年度聖歌隊総会開催

ニコライ本多弘明



7月23日(日)の聖体礼儀後、令和5年度の聖歌隊総会が開催された。ご多忙な水口神父様にご臨席をいただくため日程を調整した結果、大暑の時期の開催となったが、参加者14名が何とか無事に一年を乗りきり総会に集うことができた。何よりも、そのことを素直に感謝したいと思う。

ここ数年、コロナ禍により聖歌の練習もままならない日々を過ごしてきたが、ようやく昨年の後半頃からは集まって練習出来る状況となり、聖歌隊員一人ひとりからも祈祷や練習に向き合う意識の高まりが感じられるようになってきていると思う。

また、昨年はリモート練習やCDを用いた個人練習など新しい試みも始めた。聖歌隊としては、今後とも機会を捉えて練習を重ね、祈祷や奉仕活動、また親睦にも努めることを確認しつつ、実りある会を終えた。

只今、聖歌隊では隊員を絶賛募集中です。ご興味のあ  
る方は是非お声掛けください。

## 白河正教会だより

7月15日(土)、16日(日)に水口神父が白河正教会を巡回し、奉神礼を執り行った。土曜日の徹夜祈祷の前に、コンスタンチン小木原兄のパニヒダが執り行われた。

16日の聖体礼儀の後に、臨時信徒総会が開かれた。これは、白河正教会の所有する不動産の売買と契約駐車場新設に関する議案のために急遽開会されたものである。決議された主な内容は以下のとおり。

昨年度に旧澤邊神父宅の解体によって更地となった土地は、袋小路のため利用できないゆえ、隣接する緑川氏に、現貸地と共に売却することになった。

また、道路を隔てて教会の隣に貸地している佐藤氏および飯地氏の家屋が9月に解体され更地として返還されるため、当該地に契約駐車場を新設する。管理は第三者に委託する。



▲ 臨時信徒総会の様子



▲ 売却予定地(手代町43番)



▲ 更地返却・駐車場新設予定地

## 中新田正教会だより

7月1日(土)、16時30分より、中新田正教会の執事会が開かれ、翌日の信徒総会に向けて報告事項や決算・予算の確認を行った。

翌2日(日)、聖体礼儀の後、中新田正教会信徒総会が開催された。昨年度の宗務・事業報告が行われた。永眠者が多かったこと、水口神父の怪我により巡回がなされなかった月があったことなどが報告された。



続いて財務に関して、決算報告、財産目録の説明が行われ、監査報告がなされた。財務諮問委員会の手引きに従った科目・項目に切り替えた決算・予算となった。

コロナ禍の緩和をうけて、少しずつではあるが教会活動を活発化していくことをみんなが確かめ合った。

## 函館正教会・上磯正教会を訪問して



中新田正教会 セルギイ渡邊安久

6月15日(木)～16日(金)、一泊二日の日程で函館正教会を訪問のため9名の参加者を得ていざ、函館に向かうため朝一番の新幹線で出発10時30分函館駅着。中新田正教会聖堂成聖式以来の児玉神父さん夫妻に皆さん興奮と喜び一杯の再会となりました。早速、修復が終えた聖堂の中に入ると見違えるほどになったイコノスタス・アイコン、壁、床に敷いてあるゴザ全てが綺麗、素晴らしい！又、屋根・外壁も前のイメージとは全く違い明るく、境内地も綺麗に整備された教会に参堂出来たことに感謝を込めて皆で献灯致しました。

二日目には上磯正教会を訪問。神父さんが出迎えてくださり、聖堂の中で色々とお話を頂きました。私にとって上磯正教会は馬場神父様の埋葬式に参列した教会。もうひとつの目的は中新田正教会を管轄、お世話をいただいた馬場神父様の墓参りをする事。神父様が眠っている墓前で児玉神父さんとりティヤを献じ「永遠の安息」をお祈りいたしました。

喜びと感謝の楽しい時間を過ごした二日間でありました。



8月聖名日  
モレーベンのご案内  
8月6日(日)聖体礼儀後

8月の聖名日モレーベンに該当する方々の一覧です。



▲ 聖ソロモニヤ



▲ 聖ミロン(キジクの)

| 聖名日  | 聖名                     | 氏名(敬称略)  |
|------|------------------------|--|
| 8/2  | 聖預言者イリヤ                | 伊勢 薫、居川達彦、大槻智也<br>木村良治、門間 新  |
| 8/4  | マリヤ (マグダリナの聖携香女)       | 遠藤千尋、伊藤万理亜、太田ちえ子<br>片上裕子、勝又淑子、木村富喜子、<br>佐藤佑美、佐藤浩子、内海えり子、<br>永元道子、鈴木三千代、鈴木テレサ<br>横山節子、及川聡子、古仲和香奈、<br>恩田恭子、後藤雅子、沼田芙美 |
| 8/6  | ハリスティナ (ティルの聖致命女)      | 桜井愛莉紗  |
| 8/8  | パラスケワ (ロマの聖致命女)        | 針生佐和子  |
| 8/14 | ソロモニヤ (聖致命者マッカウエイの母)   | 権藤順子   |
| 8/16 | ファウスト (コンスタンティノポリの克肖者) | 山崎浩夫   |
| 8/18 | ノンナ (神学者聖グリゴリオの母)      | 平塚 望   |
| 8/21 | ミロン (クリトの克肖者主教)        | 千葉 温   |
| 8/30 | ミロン (キジクの聖致命者)         | 水口勇毅   |

・永眠  
七月十九日  
イラリオン 渋木誠一郎 兄 (74歳)  
永遠の記憶



【白河正教会】

## 消 息

## お知らせ

- 1、隣接ビル工事の関係で、8月中も駐車スペースが狭くなっています。ご理解とご協力をお願いします。
- 2、下水管工事の関係で、8月中は、会館3階と4階のトイレが使用できなくなっております。契約駐車場側にある外のトイレをご利用ください。
- 3、今年もバザーは中止といたします。物品献納も受け付けていませんので、ご了承ください。

# 執事会報告

令和5年7月11日(火)

午後2時～3時20分 3階会議室

## 一、報告事項

・婦人会総会 6/11開催。

函館教会訪問を計画。聖堂用の掃除機が重たいので、女性でも簡単に使用できる掃除機が欲しい。←教会として3万～5万円の予算で購入する。

・信徒総会 6/18開催、無事終了。

・教区会議 6/25開催、無事終了。

(1)会計監事がハリサン・大立目兄からイリヤ木村兄に交代した。

(2)受付は常時二人体制を保つように配慮する。

(3)名札があったらよかった。

・全国公会 7/9開催。

仙台より教区代議員としてニコライ山田兄とイリヤ木村兄が出席。

・境界線工事開始 6/15より

駐車スペースの制約が継続している。

下水管不備のため会館3階4階のトイレが使用禁止となった。

会館外のガス、水道、下水管の整備。

倉庫二つとも工事のため場所移動。

・会計報告 一般/収益  
収益事業部として7月中に納税予定。

## 二、協議事項

### (1) 敬老会

昨年と同様に、祝賀会は行わず、モレーベンと御祝い品送付のみとする。御祝い品について話し合ったが、基本的に例年どおりとしたい。

### 三、その他

7/7に、水口神父がマリヤ永元姉、マリヤ太田姉、オリガ水口マトシカと共に、マトフェイ横山毅兄の施設を訪問し、病者平癒祈禱を行った。短い時間ではあったが、



はあったが、コロナ禍緩和によって、奥様とご息と共に歓談することもできた。マトフェイ毅兄は、「主憐れめよ」と綺麗な声で一緒に祈られた。

# 献金報告 (5.6.26～5.7.23)

○聖堂内献金 八万一千三百七十六円

## ○感謝献金

横山毅 (病者平癒)  
町田真佐子

## ○聖名祭感謝献金

水口敦子  
笹川皓、高橋英俊、古田直子  
本多弘子、本多真敏  
岡多喜子

## ○会報献金

吉永恵一・孝子  
小島紀二、下田行孝

## ○パニヒダ献金

太田信 (道江姉納骨)  
葛西弘子、清水格・彩子  
遊佐なみ子、佐々木隆  
鈴木三千代、平塚清、太田信  
山本理恵子、山田弘子、佐々木一志  
西海枝康子、山中由美、笹川皓、岡多喜子  
佐々木隆、古田直子、岡崎文子

※敬称略

# 8月行事・奉事予定



5日(土) 主日徹夜禱 第8調(17時)  
 6日(日) 第9主日聖体礼儀(10時)  
 書札 コリンフ前3:9・17  
 福音 マトフェイ14:22・34

※ 聖名日モレーベン

◆ 定例執事会

12日(土) 主日徹夜禱 第1調(17時)  
 13日(日) 第10主日聖体礼儀(10時)  
 書札 コリンフ前4:9・12  
 福音 マトフェイ17:14・23

■ 月例パニヒダ

◇ ミニ講話、婦人会・方舟会

18日(金) 祭日徹夜禱(17時)  
 19日(土) 主の变容祭聖体礼儀(9時)  
 書札 ペトル後1:10・19  
 福音 マトフェイ17:1・9

果物の成聖

20日(日) 徹夜禱はお休み 第2調  
 第11主日 代式祈禱(10時30分)

書札 コリンフ前9:2・12  
 福音 マトフェイ18:23・35

※ この日は代式祈禱が行われます。

◆ 方舟会総会

19・20日 水口神父白河出張  
 19日(土) 18時 主日徹夜禱  
 20日(日) 10時 主日聖体礼儀／果物の成聖

20日(日) 中新田正教会・代式祈禱(10時)

26日(土) 徹夜禱はお休み 第3調  
 27日(日) 第12主日 代式祈禱(10時30分)  
 書札 コリンフ前15:1・11  
 福音 マトフェイ19:16・26

※ この日は代式祈禱が行われます。

◆ 聖堂清掃奉仕の日

26・27日 水口神父中新田出張  
 26日(土) 17時 勉強会／18時 晩禱  
 27日(日) 10時 主日聖体礼儀／果物の成聖

月例パニヒダ

27日(日) 祭日徹夜禱(17時)  
 28日(月) 生神女就寝祭聖体礼儀(9時)  
 書札 フィリップ2:5・11  
 福音 ルカ10:38・42、27・28

## 8月の予定

- 【聖名祭感謝祈禱】6(日)
- 【月例パニヒダ】13(日)
- 【代式祈禱】20(日)、27(日)
- 【聖堂清掃奉仕】27(日)
- 【聖歌隊練習日】27(日)
- 【ミニ講話／婦人会・方舟会】13(日)
- 【教会学校】→随時
- 【伝道会】[18時～] 2(水)、9(水)、16(水)  
 30(水) ※都合により23(水)はお休み



## 敬老会について

コロナ対策が緩和化されている昨今ですが、ウイルス自体が減少しているわけではないため、万全を期して「敬老会祝賀会」は中止いたします。ただし敬老会感謝祈禱は、9月3日(日)の聖体礼儀に続いて、聖名日モレーベンと共に執り行います。なお該当の方々には記念品・お祝いを送らせていただきます。



※ 会報に掲載されました写真でご希望のものがあればプリントいたしますのでご遠慮なく申し出ください。